



あしたの夢をともに実現

2020年度（2020年1月～12月）活動報告

NPO 法人 Ashita は 2020 年 12 月末に 8 回目の決算期を迎えました。2021 年 3 月 11 日は東日本大震災 10 年目の節目という事で、当時の津波被害から現在のかさ上げ地区、福島第一原発の現状等多くの報道番組が放映され、改めて被災地の皆さんにとっての 10 年の時の重さを振り返る機会となりました。

2020 年度は、1 月に最初のコロナ感染者が見つかったから、3 月からの休校、それに続く非常事態宣言で高校生の皆さんも勉強の場も奪われ、大変な苦勞をした 1 年間でした。一方、米国のボランティア学生も日本以上に街全体のロックダウンに直面し、3 月の試験以降大学も閉鎖され、故郷に戻ったり、留学生の多くは帰国を余儀なくさせられました。

私たちの活動も 2020 年度は始業前の Ashita Ohanashi Session（旧スカイプ・セッション）だけをかろうじて継続する事ができました。2021 年度は、コロナ禍のなか、Ashita Ohanashi Session の他に、Zoom 等を使った両国でのオンラインセミナーを実現して、異なる文化・環境の人たちとの話し合いを通じて、視野を拓ける機会を少しでも生徒たちに届けられることを期待し、これからも微力ながら関わっていきたいと考えております。

2021 年 3 月 Ashita 理事一同

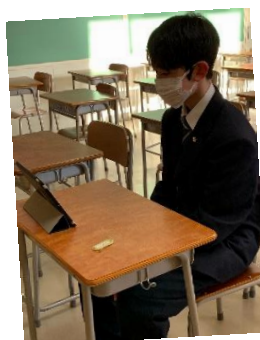
■Zoom による国際交流

震災直後に開始したスカイプ（インターネット上のビデオ電話）による交流を今年度は Zoom を使って週 1 回、始業時間前に継続して行っています。それに伴い名称を Ashita Ohanashi Session と変更しました。



これは、コロナ禍のなか、従来スカイプは学校内の PC を使用していましたが、不具合が度々発生し、2020 年度からは、より安定性があり、分散登校している時期や休日等でも個人の PC やスマートフォンで簡単に対応ができる Zoom を使用する事になりました。

2020 年度は 10 月より気仙沼高校 7 名、仙台育英学園高校 20 名、磐城高校 3 名、福島高専 7 名、Ashita 同窓生（大学生）8 名、合計 45 名が参加。米国のボランティアは、Yale 大学 15 名、Duke 大学 9 名、Columbia 大学 7 名他 2 名の大学生・高校生計 33 名が協力しています。2021 年 4 月末まで週に 1 回、始業前に 30 分間のビデオ通話（Zoom）による異文化交流を楽しんでいます。



外国の大学生と結び付ける本プログラムが、日本の高校生にとって新たな世界への入口となり、架け橋となる英語を使って自由にコミュニケーションをとる能力や日本以外の国のリソースにアクセスできるといった、素晴らしい機会をこれからも提供したいと期待しております。